

研究活動報告

日本人口学会2003年度第2回東日本地域部会

2004年4月10日(土)午後、国立社会保障・人口問題研究所にて開催された。日本人口学会の東日本地域部会担当理事である大塚柳太郎東京大学教授を座長として下記4題の報告がおこなわれた。これは本年6月の大会シンポジウムと同一の発表者・題目によるものであり、このシンポジウムの基本事項あるいは問題点などを事前に発表し、本主題に関し議論を深めることを目的としたものである。

1. 「少子化社会におけるリプロダクティブヘルスの意義と課題：問題提起」佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）
2. 「ヒトの性・生殖過程：人口統計学的方法と課題」中澤港（群馬大学）
3. 「家族計画と性感染症予防：保健医療の現場から」早乙女智子（ふれあい横浜ホスピタル）
4. 「不妊と生殖技術：現状と倫理的社会的諸問題」仙波由加里（お茶の水女子大学）

会員、非会員含めて18人が出席し専門的な質疑がなされた。

（佐藤龍三郎記）

日本人口学会第56回大会

日本人口学会の第56回大会は、2004年6月11日(金)～12日(土)の二日間、東京大学の主催により本郷キャンパス・山上会館において開催された。本大会は大塚柳太郎東京大学教授を大会運営委員長とする大会運営委員会のご尽力によって、合計221名の参加者があり（非会員を含む）、二日間にわたって活発かつ実質的な討議が行われ、盛会のうちに幕を閉じた。シンポジウム、テーマセッション（1, 2, 3）、及び自由論題の組織者、報告題目、報告者、討論者等は以下のとおりである。

●シンポジウム 「少子化社会のリプロダクティブヘルス」

<組織者>大塚柳太郎（東京大学）

<座長>池上清子（国連人口基金）

1. 少子化社会におけるリプロダクティブヘルスの意義と課題：問題提起
佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）
 2. ヒトの性・生殖過程：人口統計学的方法と課題
中澤港（群馬大学）
 3. 家族計画と性感染症予防：保健医療の立場から
早乙女智子（ふれあい横浜ホスピタル）
 4. 不妊と生殖技術：現状と倫理的社会的諸問題
仙波由加里（お茶の水女子大学）
- <討論者>林謙治（国立保健医療科学院）
阿藤誠（国立社会保障・人口問題研究所）

●テーマセッション

テーマセッション1 「ジェンダーと人口問題」

<組織者>早瀬保子（元アジア経済研究所）